

2012年3月入職

ただちはる
武田千春



バランスの良さが、善仁会の魅力

安心感があったから、再チャレンジできた

入職した当時、ある患者さまへの穿刺の失敗が続いたことがありました。「また失敗してしまうのではないか」というプレッシャーがあり、しばらくはその方への穿刺は他のスタッフに代わってもらっていました。でも、「逃げてはいけない」という気持ちがあり、顔を合わせたときには挨拶を交わすなど、穿刺以外のところでコミュニケーションを図っていました。数ヶ月後、まわりのスタッフからの声に押され、その患者さまに再チャレンジすることに。「フォローするから」というまわりからの声が強かったですね。結果は、見事成功。今もその方に穿刺すると、「うまくなったなあ」と毎回しみじみと褒められています。

当時を振り返ってみると、みんなに見守ってもらっているという安心感があったからこそ、決心が踏み切れたのだと思います。職場の雰囲気はすごくいいですよ。基本的には和やかなのですが、締めるところはちゃんと締めていて、適度な緊張感があります。上長からのアドバイスも、長所を褒められつつ、課題も的確に指摘してもらっています。



次なる成長のきっかけにしたい



実を言うと、私は思いやりエキスパートナースを目指していたわけではありません。認定者は「思いやり行動に加えて、知識や技術が優れている人」という認識だったので、まだまだ日々の業務に追われていた私にとっては、むしろ縁遠いと思っていました。だから推薦されたときは戸惑ったのですが、今では「これを機に成長したい」という風に心境が変化しています。も

もと知識を深めたいという欲求はあって、看護師としてのキャリアをスタートさせた

ときには准看護師だったのですが、もっと看護の分野を突き詰めたいと思い、進学して正看護師になりました。やはり、私はこの仕事が好きなんです。それを再確認できた今、エキスパートとして選ばれたことを、次なる成長のきっかけにしていきたいと思っています。

お客さまを大切に思い
心地よさを感じて頂け
看護を目指します

武田千春